



豊玉二中だより

令和5年度 第10号
発行日 1月9日(火)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年を迎えて

校長 神山 信次郎

このたび、石川県能登半島を震源とする地震により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。令和6年が始まりました。皆さんは新しい年の始まりをどのように過ごしたでしょうか。きっと誰もが新鮮な気持ちで家内安全や家族の健康を願い、その上で「今年は〇〇を頑張るぞ」と誓いを立てたことと思います。「〇〇を頑張るぞ」の中には昨年十分な取り組みができなかったり、結果を出すことができなかったりした内容が多く含まれていると思います。ぜひ、昨年の反省を踏まえ、長期的な目標・夢達成のため、まず身近なところで実現可能な目標を立てることから始めましょう。日々立ち止まることなく、一歩でも半歩でも前進する気持ちを忘れないで、成長できる1年にしてほしいと思います。

さて、3学期がスタートしたところです。1年のまとめの時期ではありますが、次の学年に向けて準備をする大切な時期という自覚を持って、ひとりひとり気持ちをひきしめて生活してほしいと思います。

3年生は、「卒業後の進路に向かって全力で取り組み有終の美を飾る3学期。」

2年生は、「自分の将来をみつめ、その目標や目的に向け準備をする3学期。」

1年生は、「落ち着いた学校生活をおくり、2年生に向けての準備をする3学期。」

今年は「辰年」。「辰年」は成功の芽が成長し、姿を整えていく年と言われています。つまり、努力した成果が実を結ぶ年といえるでしょう。ただし、実を結ぶためには「努力」と「忍耐」が必要です。振り返ってみると過去の辰年には、「努力」と「忍耐」の末に得た素晴らしい成果が報告されています。

12年前2012年 山中伸弥氏が、iPS細胞を発見し、再生医療の分野に革命をもたらす画期的な成果として、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

24年前2000年 シドニー五輪・女子マラソンで高橋尚子さんが史上初の金メダルを獲得しました。2024年辰年は龍の如く、猛々しく、新しいことに挑戦し、自らの目標を達成する年にしましょう。新年を迎え、今年も生徒の皆さんには元気な笑顔と一所懸命頑張る姿を見せてくれることを期待します。どんな困難でも乗り越える勇気を皆さんは確実に持っています。自分の力を信じて自らの将来を切り拓いていく1年にしましょう。

